

教育相談
072-941-3365

情報推進
072-943-5785

研究・研修
072-943-5784

八尾市ホームページ <https://www.city.yao.osaka.jp>
（「教育委員会」のページよりご覧ください）

5年経験者・10年経験者研修（オンライン研修）

10年経験者研修 日時：令和3年1月14日（木）15:00～17:00

5年経験者研修 日時：令和3年1月19日（火）15:00～17:00

10年経験者・5年経験者となる教諭を対象に、今年度の最後の研修を行いました。今回の研修はオンライン会議システム Teams を使い、教育センターと各学校をつなぎ、10年経験者研修は1年間を通して学校組織づくりで実践してきた「チームビルディング」について、5年経験者研修は若手教員の成長を助ける「メンタリング」についての研修を行いました。受講者は、自校での実践内容をオンラインを通じて情報交換していました。

教育センターとしても初めてのオンライン会議システムを使った研修となりましたが、10年経験者研修の受講者からは、「初めて Teams を使ったオンライン研修で戸惑うことも多々ありましたが、このような機会をいただいたことで使用方法などをよく理解することができました。」「組織づくりについても他の10年経験者の考えを聞くことができ、非常に参考になりました。」という感想がありました。

5年経験者の受講者からは、「交流するグループの先生方の学校の環境や担当している学年、メンティの年数なども違う中での交流で、とても様々な取り組みについて知ることができました。」といった感想がありました。



ICT 担当者研修

日 時：（中）令和3年1月26日（火）15:30～17:00

（小）令和3年2月1日（月）15:30～17:00

講 師：八尾市教育委員会教育センター指導主事

ICT 担当者を対象としてオンライン会議システムを活用して研修を実施しました。GIGAスクール構想の内容や本市や他自治体の実践について紹介しました。また、オンラインでグループ協議を行い、一人一台の端末が配備された際に、どのような授業をしたいかについて考え、共有しました。

受講者からは「初めてのオンライン研修で戸惑うこともありましたが、とてもよい機会になり、学校でも活用したいと思います。」や「実際に体験することができ、授業で積極的に活用していきたいと思います。」といった感想がありました。

今後の授業づくりにおいて、ICTを活用した情報活用能力の育成に向けた取り組みを推進していきます。



Web版「八尾の小さな巨匠展」

公開期間：令和3年1月20日（水）～2月28日（日）

公開場所：各学校HP

「八尾の小さな巨匠展」は、八尾市立学校の支援学級ならびに大阪府立八尾支援学校、大阪府立藤井寺支援学校の児童・生徒の絵画・工作などの作品を展示する作品展です。子どもたちの学習の成果を認め合い、作品を通して交流を深めるとともに、広く地域の人々に特別支援教育に対する啓発をはかることを目的として、八尾市教育研究会の主催で毎年開催されています。



今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、プリズムホールでの開催を見合わせWebでの開催となりました。出展された作品は、どの作品も子どもたちの個性と創造性に溢れ、まさに「小さな巨匠」と呼ぶにふさわしいものばかりでした。また、Web開催の良さをいかし、今まで会場に来ていただくことができなかつた方々にも見ていただくことができたというお話も聞くことができました。



幼・保・こ・小合同研修会

日時：令和3年2月8日（月）～3月8日（月） オンデマンド配信

講師：奈良教育大学 教授 廣瀬 聡弥 さん

内容：『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿でつなぐ接続期のカリキュラムと展望』

「幼・保・こ・小合同研修会」は、就学前施設での子どもの発達や学びが途切れることなく小学校での生活へとつなげるために、幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校が子ども同士の交流だけでなく教職員間での交流や連携を深め、よりよい教育や保育の実践を行うことを目的として、毎年実施しております。

今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、第1回を中止し、第2・3回については、ワークシートによる研修としました。ワークシートには各学校園の教育・保育実践と、その中で子どもたちがどのように育ってきたかを“幼児期の終わりまでに育ってほしい姿”の視点でまとめていただきました。そして、教育センターにて中学校区ごとにまとめて事例集としました。

令和2年度
第4回 幼・保・こ・小合同研修会 資料
実践事例集
～“幼児期の終わりまでに育ってほしい姿”の視点より～

【健康な心と体】 就学前施設(5歳児)		小学校(一年生)		
子どもの具体的な育ちの姿	意識したこと	場面	子どもの具体的な育ちの姿	意識したこと
・戸外で体を動かしながらジャングリングや鉄棒や雲梯などの活動に目標を持って挑戦し、困った事に遭遇しても気持ちを切り替えて乗り越えようと主体的に取り組んでいる。	・天候の良い日は戸外で身体を存分に動かすようにする。 ・ジャングリング	体育 特活	・鉄棒あそびやとびばこあそびなどの活動において、目標を持って意欲的に取り組むことができた。 ・コロナウイルスについての学習では、自分たちにできることを考えながら深める	・全領域において、「のびのび活動できるような場づくり・雰囲気作り」と「考えるきっかけを多くつくり、考えた結果をあまり求めないこ

1班

第4回の研修会では廣瀬先生に、事例集をもとに、就学前と小学校の教科等との関連などについて分析をしていただき、幼・保・こ・小接続の目的や意義についてもご講義いただきました。緊急事態宣言の発令に伴い、オンデマンドでの配信といたしました。